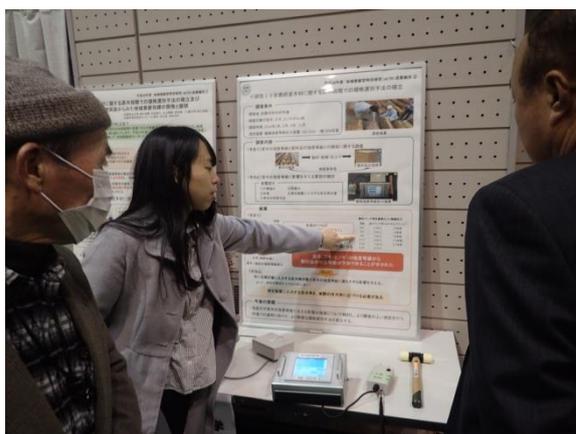
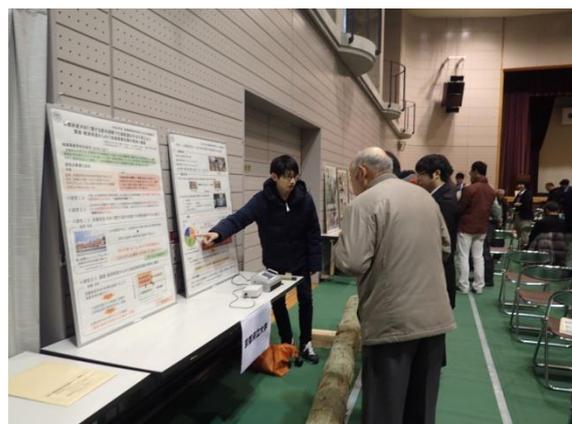


2016年2月10日（金）に和知ふれあいセンターにて「京都林業のつどい」が開催されました。このつどいに参加し、『京都府立大学地域貢献型特別研究（ACTR）：京都府産木材に関する原木段階での規格選別手法の確立及び環境・経済両面からみた地域貢献指標の開発と展開（代表：森林科学科 生物材料物性学研究室 助教 神代圭輔）』の研究成果について当該研究グループにてポスター発表を行いました。



ポスター展示による ACTR 研究成果の報告

#### 【京都林業のつどいの説明】

平成 27 年に策定した成長型林業構想の素材生産量拡大(10 万 m<sup>3</sup> 増産)の実現のため、川上側から見た全国における先進事例や実践を取り上げ、森林所有者、林業事業者等が一堂に会して、これからの京都の林業に何が必要かを探るためのつどい。

テーマ：これから、京都の林業に何が必要か

参加者数：約 250 名（府内の森林所有者、森林組合、林業事業者、指導林家、京都府林業士会、京都府林業研究グループ連絡協議会、京都大阪森林管理事務所、市町村、京都府立林業大学校生等）